

JAグループ鳥取自己改革推進レポート（5月号）

1. 大山乳業農業協同組合の取り組み

① 飼料高騰に係る経営安定対策の強化に関する緊急要請

4月22日に大山乳業農業協同組合は、鳥取県庁において平井伸治知事へ飼料高騰に係る経営安定対策の強化に関する緊急要請を行った。

小前孝夫代表理事組合長とナカムラファーム（八頭町）の中村兼三代表が要請書を手渡した。世界的な原油高やウクライナ危機などで飼料価格が高騰し、酪農家の経営は急激に悪化。

持続的な生産基盤の維持・強化に国への働きかけや県独自の支援策を求めた。



② オール琴浦町コラボでアイス共同開発

大山乳業農業協同組合は4月15日、琴浦町にある琴の浦高等特別支援学校の生徒たちと、同町内の馬野建設が栽培したブルーベリーを使用した「白バラプレミアムアイス（ブルーベリー&クリームチーズ）」を共同開発し、福本まり子琴浦町長に完成報告した。

2017年より地域活性化に繋げようと地元の高校や大学と商品を開発・販売する取り組みを行っており、学生とのコラボ商品は今回で5回目。3者揃って琴浦町に所在しており、町内にあるブルーベリー農場で同校の生徒らが収穫し、レシピを共同で考案するなどオール琴浦が実現した。



2. JA全農とっどりの取り組み

JA全農とっどリアグリマーケットCM・YouTube 配信

砂丘らっきょう甘酢漬け、砂丘ながいも、あんぼ柿、鳥取牛牛丼の素など、「鳥取の美味しいを全国へお届けします！」CM動画を作成。

YouTube 配信および本会オンラインショップアグリマーケットHPへ動画掲載を行った。



3. J A鳥取信連の取り組み

大規模な担い手への対応強化の取り組み

信連は、第50回J A鳥取県大会の決議事項のうち「大規模な担い手への対応強化」を重点取組施策として掲げ取り組んでいく。

担い手への対応については、第49回大会の重点取組施策でも取り組み、農業メイン強化先への訪問を行い、最終年度の令和3年度には、担い手コンサルティングの取り組みを開始し、3先について実践した。

令和4年度以降についても、J Aと連携し、担い手への訪問を通じニーズの把握や相談対応等により農業基盤づくりを支援する。

今後の主な実践内容は、大規模農業者・農業法人へJ A担当者との同行訪問を通じた関係構築、研修等を通じた農業法人向け審査スキルの向上支援を行う予定であり、今後のレポートで進捗状況等を伝えていく。

4. J A共済連鳥取の取り組み

鳥取大学および公立鳥取環境大学への星空舞の寄贈

J A共済では、J Aのブランドイメージ向上や県産米のPRを図り、消費拡大に繋げるため、鳥取大学および公立鳥取環境大学へ星空舞合計1,000袋(1袋2kg)を寄贈した。

寄贈先の大学からは「昨年引き続き学生に支援いただき、大変ありがたい。おいしい鳥取県産米を食べて、学生も明るい気持ちになり元気になってもらいたい。」といった感謝の謝辞をいただいた。

今後もJ A共済では、地域の発展・農業振興に役立つような地域貢献活動を行っていく。



以上